

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名	交通安全対策					所管	都市づくり部 交通対策課
	行政計画	事業NO.	70	計画事業名	自転車のセーフティ利用促進	事業の開始・終了年度	
長期総合計画体系	[基本目標] II-1. 個性を活かしたまちづくりの推進					[事業開始] 昭和38年度	
	[小柱] (1)暮らしを支える都市基盤の充実					[終了予定] - 年度	
根拠法令等	法令(義務)	[法令等名]	交通安全対策基本法、台東区交通安全協議会規約				
事業対象	一般区民						
事業目的	区内4警察署及び4交通安全協会等と連携し、交通安全事業を行い、交通事故防止に努める。						
事業内容	1. 春・秋の交通安全運動の活動への支援「交通安全区民のつどい」の開催 2. 高齢者運転免許自主返納支援事業の実施 3. 冊子「台東区の交通安全」と「交通安全絵本」の作成 4. 各種キャンペーンの実施						
委託の有無	一部委託	委託内容	交通安全区民のつどい(アトラクション等)				
補助金の有無	なし						
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度
	活動指標	交通安全区民のつどいの開催	回	1	1	1	1
	成果指標	交通安全区民のつどい参加人数	人	1,000	1,000	1,000	916
	決算額 (単位:千円)				20,320	24,491	5,084
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			6,801	5,614	4,459
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			20,235	24,477	5,084
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			86	15	0
		総経費			27,122	30,106	9,543
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			31	22	15
一般財源(区負担額)			27,091	30,084	9,528		
前回評価から改善した事項	交通事故の危険性が高い歩きスマホについて、警察署、関係機関等と連携し、ノベルティを配るなど啓発活動を行った。						
評価の視点	評価	評価の理由					
	必要性	3	交通事故の発生件数は減少傾向にあるが、さらに減少するように事業を推進していく必要がある。				
	効率性	3	警察署、関係団体と連携し交通安全の啓発事業を効率的に実施した。				
	手段の適切性	4	警察や、関係機関と協力することにより、事業が充実してきており、適切である。				
	目的達成度	4	秋の交通安全運動の実施にあわせ、交通安全区民のつどいを開催し、多くの区民が参加し、警察署、交通安全協会とともに交通事故防止の徹底を図った。				
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了
春秋の交通安全運動や交通安全区民のつどいだけでなく、区民向けのイベント等の機会を捉えて、警察署等関係機関と連携して普及啓発を行い、区民の交通安全意識向上を図っていく。						維持	